

学習院大学計算機センター

# 50周年記念講演会

情報社会の未来を切り拓く - 人工知能と量子コンピューティング

人工知能（AI）は想像を超える性能で私たちを驚かせ続けていますが、より強力なコンピュータの登場により、さらに飛躍的な進化が期待されます。一方、量子コンピューティングは、従来のコンピュータでは不可能だった計算を可能にします。計算機センター開所50周年を記念し、未来を切り拓くこれら革新技術について、専門家によるご講演をいただきます。



14時30分～15時30分

「人工知能の仕組みを理解する試み」

～近年の研究と人工知能の未来～

講師：今泉允聡氏（東京大学 准教授）



15時40分～16時40分

「量子コンピューティングの産業化を実現する  
グローバルビジネスエコシステム構築」

講師：堀部雅弘氏（産総研 G-QuAT 副センター長）

2024.

10.26(土) 14時30分～16時40分

参加  
無料

事前  
申込

📍 会場：学習院大学 西5号館303教室

主催：学習院大学計算機センター 後援：豊島区

# 学習院大学計算機センター 50周年記念講演会



## 「人工知能の仕組みを理解する試み」

～近年の研究と人工知能の未来～

今泉允聡氏（東京大学 准教授）

人工知能は現在、私たちの生活のあらゆる場面で活用され始めています。しかしながら、人工知能がどのように動いているのか、なぜうまくいくのかについては、まだわかっていない部分が多くあります。人工知能を適切に活用するためには、その仕組みについてさらなる理解が必要です。この講演では、以下の3つのトピックについてお話しします。

- ・人工知能の核心技術である「深層学習」の概要
- ・人工知能の仕組みを理解するための現在の研究動向
- ・人工知能をより深く理解するために今後必要とされる技術

最後に、これらの知見を踏まえ、人工知能の将来的な可能性と課題について考察します。



## 「量子コンピューティングの産業化を実現する グローバルビジネスエコシステム構築」

堀部雅弘氏（産総研 G-QuAT 副センター長）

経済・環境・社会が調和した未来社会を実現するための技術として、量子技術に対する注目が高まっており、特に革新的計算サービスを可能にする量子コンピュータに対する期待が高まっています。数年前まで本格的な量子コンピュータの実現は2040年頃と考えられていましたが、昨年末には、1000量子ビットを超える超伝導量子コンピュータが実現され、さらには、中性原子量子コンピュータ方式では世界で初めて本格的な量子コンピュータ（誤り訂正機能を備えた量子コンピュータ）が発表されました。この劇的な技術の進展により、量子コンピュータによる産業化の期待が一気に高まり、今年には量子コンピュータが研究対象から研究開発のツールへと進展が始まった、転換期と言えます。今後、産業化・社会実装を図っていくうえでも、多様なグローバルなキープレイヤーとの連携に基づくエコシステムを構築していく必要があります。このグローバルエコシステムの構築を目指した、産業技術総合研究所 量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センターの取組とグローバル連携の意義をお話しいたします。

### ◆お申し込み

下記QRコードよりお申し込みください。

※お申し込み順で定員になり次第、  
締め切らせていただきます。



### ◆会場アクセス

JR山手線「目白駅」より徒歩10分

東京メトロ副都心線「雑司が谷駅」より徒歩15分

※都電荒川線「学習院下駅」「鬼子母神駅」も利用可能

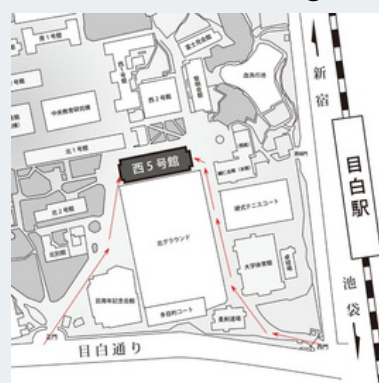
### ◆お問合せ

学習院大学計算機センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL：03-5992-1050

E-mail：cc-off@gakushuin.ac.jp



主催：学習院大学計算機センター 後援：豊島区